

2024年 8月 8日

## 2023年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 東北大学SCRUM

代表者・役職名 氏名 前代表 上園真輝人

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

東北大生による石巻市震災遺構・大川小語り部の継承活動

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

東日本大震災時に、「1人でも多くの学生を被災地に」をスローガンに東北大学生ボランティアの活動を継承・発展させることで、東北地域の復興を目的にして設立された。現在は、被災地での震災伝承活動や、東北地域の魅力を伝える活動などを行っている。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

東日本大震災から12年の月日が経過し、被災地を訪れても被災前の営みを感じることは難しくなっている。その一方で震災遺構や伝承施設の保存が進み、地域の経験や記憶を伝える役割が期待されている。しかし、被災経験やそこからの思いなどを伝える「語り部」の人数は限られており、高齢化も進行している。このため、語り部の経験を次世代に伝える「語り継ぎ」が重要視される。プロジェクトでは、大川小学校を中心に被災地の経験や思い、そこから私たちが感じたことを次世代に伝え、地域の防災意識を育てることを目指す。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当団体に所属するメンバーが、石巻市大川小学校の語り部ガイド見学を行いながら、大川小学校とは異なった背景を持つ震災遺構や伝承施設を訪れ多面的な震災学習に取り組む。先行事例を参考に活動を進め、大川小学校の語り部ガイドマニュアルを作成し、大川小学校の訪問者に語り部ガイドを行う。また、ビデオ撮影などで活動を記録し、マニュアル修正を進める。さらには、現地だけでなく東北大学生に向けた講義も実施し、当団体の新メンバーにも震災学習や語り継ぎのノウハウを継承する。2024年度以降は新メンバーが中心となって活動を継続し、発展させていく。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

プロジェクトの実施を通して、これまでに6回、計200名以上の方に現地で語り部ガイドを聞いてもらったことが主な成果である。複数のメディアからも取材があり、東北地方をはじめとした多くの方に活動を知ってもらうことができた。現地で聞いた方からは、聞き手の立場にも近い立場からのガイドであり分かりやすい、災害に対する備えを見直そうと思ったなどの感想があり、災害や防災に対する意識の向上につながった。また大学内でも計50名以上の方に語り部ガイドを聞いていただき、現地に行かなくても大川小学校での経験や教訓を伝えることができた。さらにプロジェクトから派生して、兵庫県など大川小学校以外の場所で語り部に取り組む学生などと交流する機会を設けることができた。その結果、メンバーの意識やガイドの質の向上にも努めることができた。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

---

2023年度の活動の中で見つかった課題は、ガイドをする上での伝え方の難しさである。実際に津波や大きな揺れを感じていないメンバーが大半を占める中で、いかに効果的に震災の経験や教訓を伝えるのかという点についてはメンバー内で協議を重ねた点である。

今後は2023年度に挙げた課題に対処しながら活動を継続していく。2024年度はよりガイドに取り組む私たちの世代に近い高校生や大学生にも語り部ガイドを実施していきたいと考えている。また、入れ替わりの激しい学生団体の中で、ガイドの引継ぎに必要な資料の作成や震災遺構の視察などの学習機会の提供を継続して実施していくことで、持続可能な語り部ガイドを実施していく予定である。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。